

ネコの皮膚

2012 - 20 - 2

豚病理 金森健太

提出機関: Faculdade de Medicine Veterinaria e Zootecnia da Universidade Sao Paulo

症 例: 猫(*Felis catus*)、15ヶ月齢、未避妊メス。

病 歴: 鼻平面、耳、前肢、首と腰仙部の皮膚に多発性潰瘍、壊死性結節を伴い、全身状態は良好。病変部から *Sporothrix schenckii* が分離されており、イトラコナゾールを数週間経口投与されていた。その6週間後に剖検。

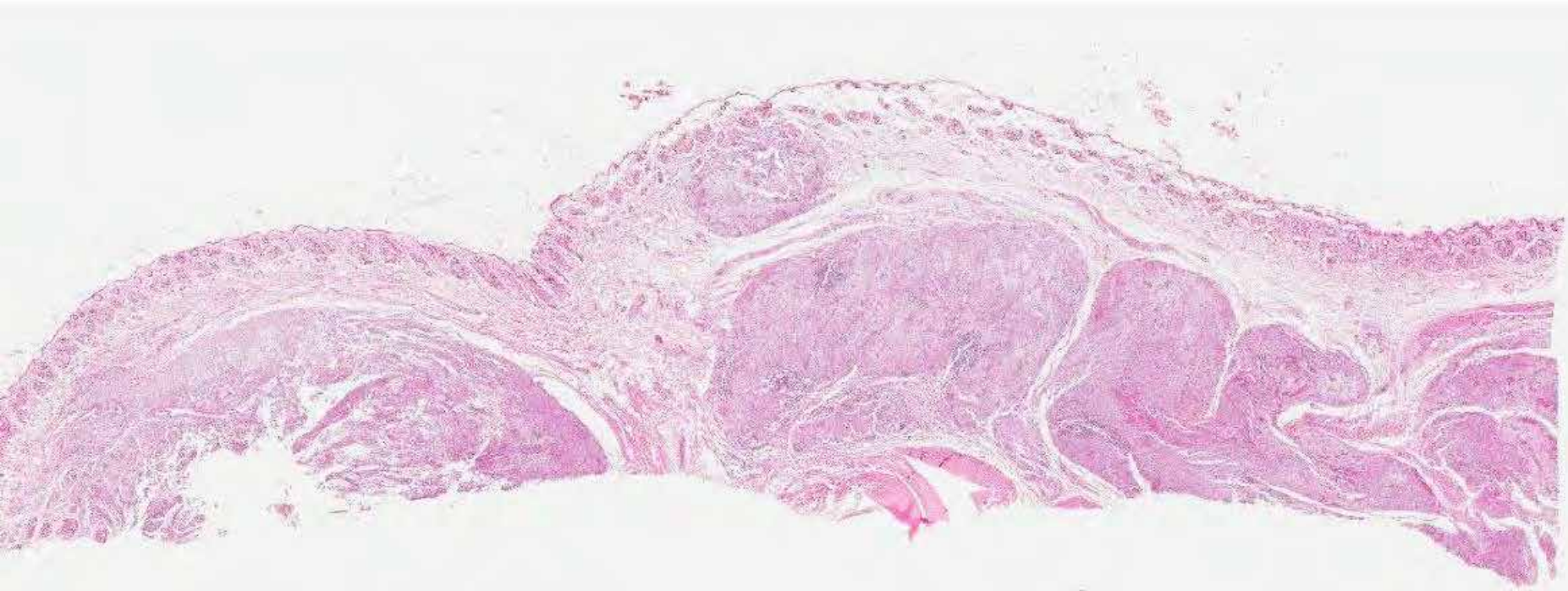
肉眼所見: 体重は2kg以下で、削瘦。体内脂肪の量も減少していた。

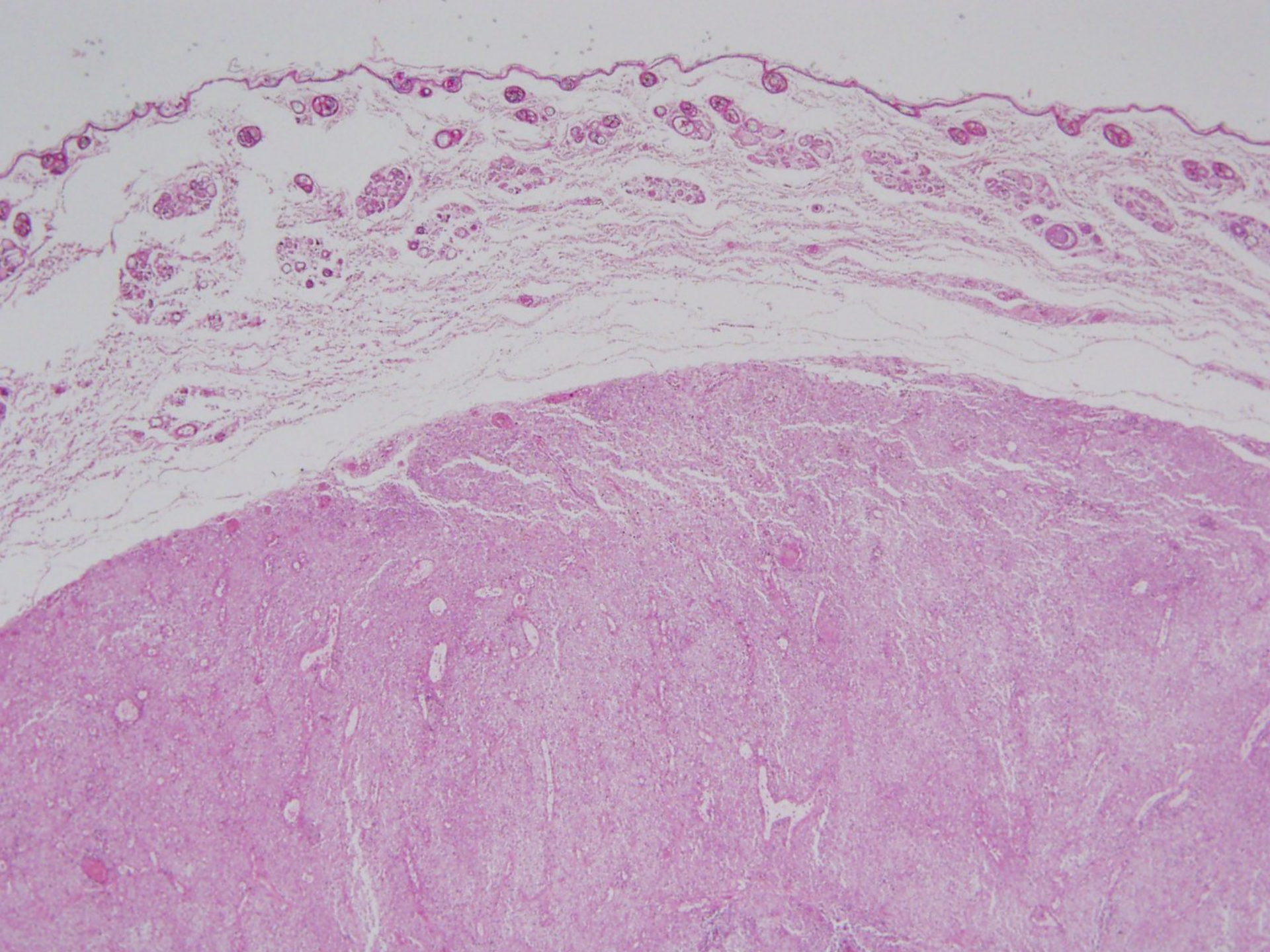
右頬、耳、首、両前肢の指、腰仙部に多発性に結節が見られ、1～7cmの粘稠性のある赤色調の潰瘍も認められた。

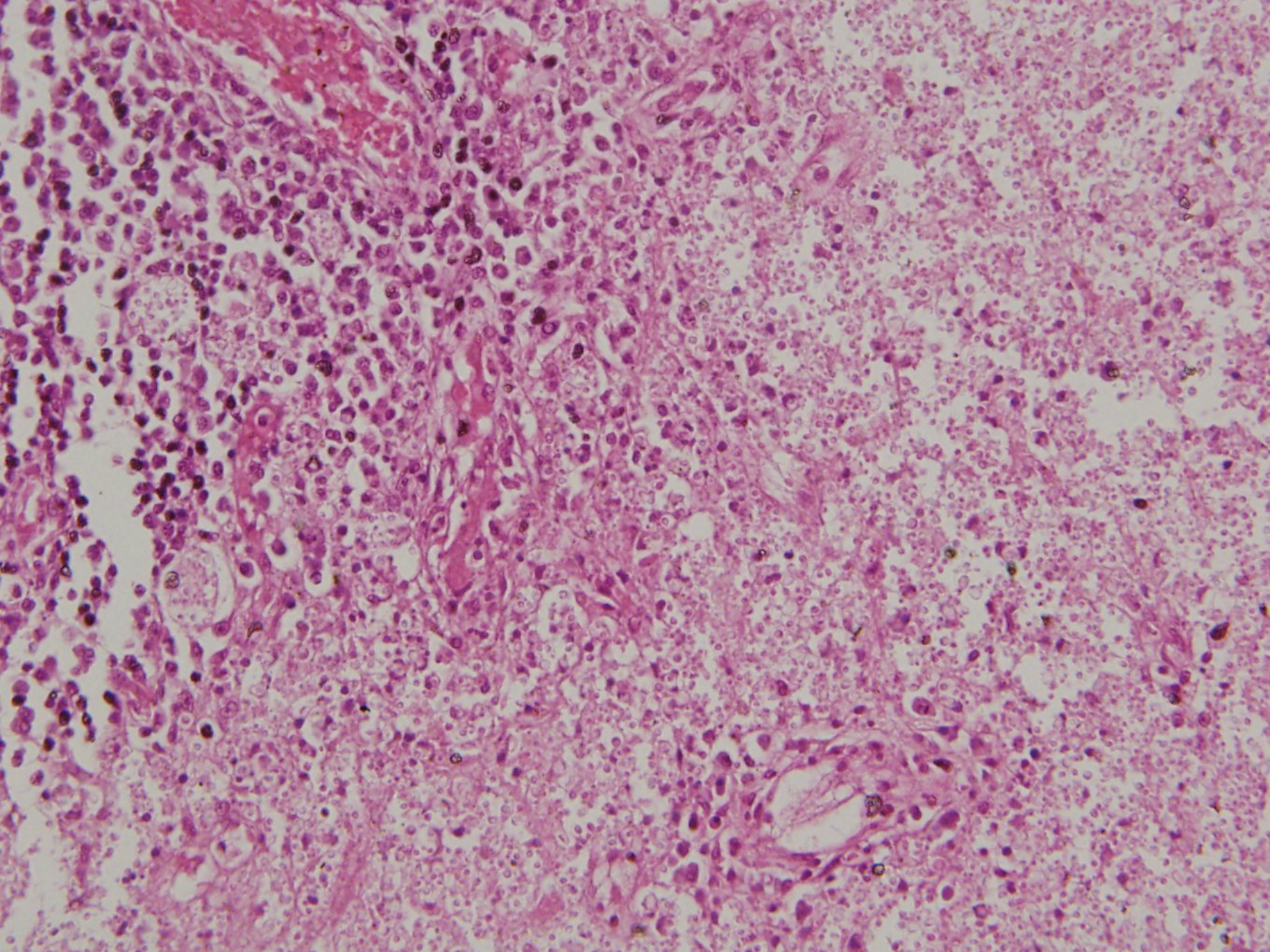
潰瘍部はかさぶたで覆われ、辺縁は不整形、切断面は白色から黄色、不定形、もろく、結節および局面(プラーク)は境界が明瞭だった。

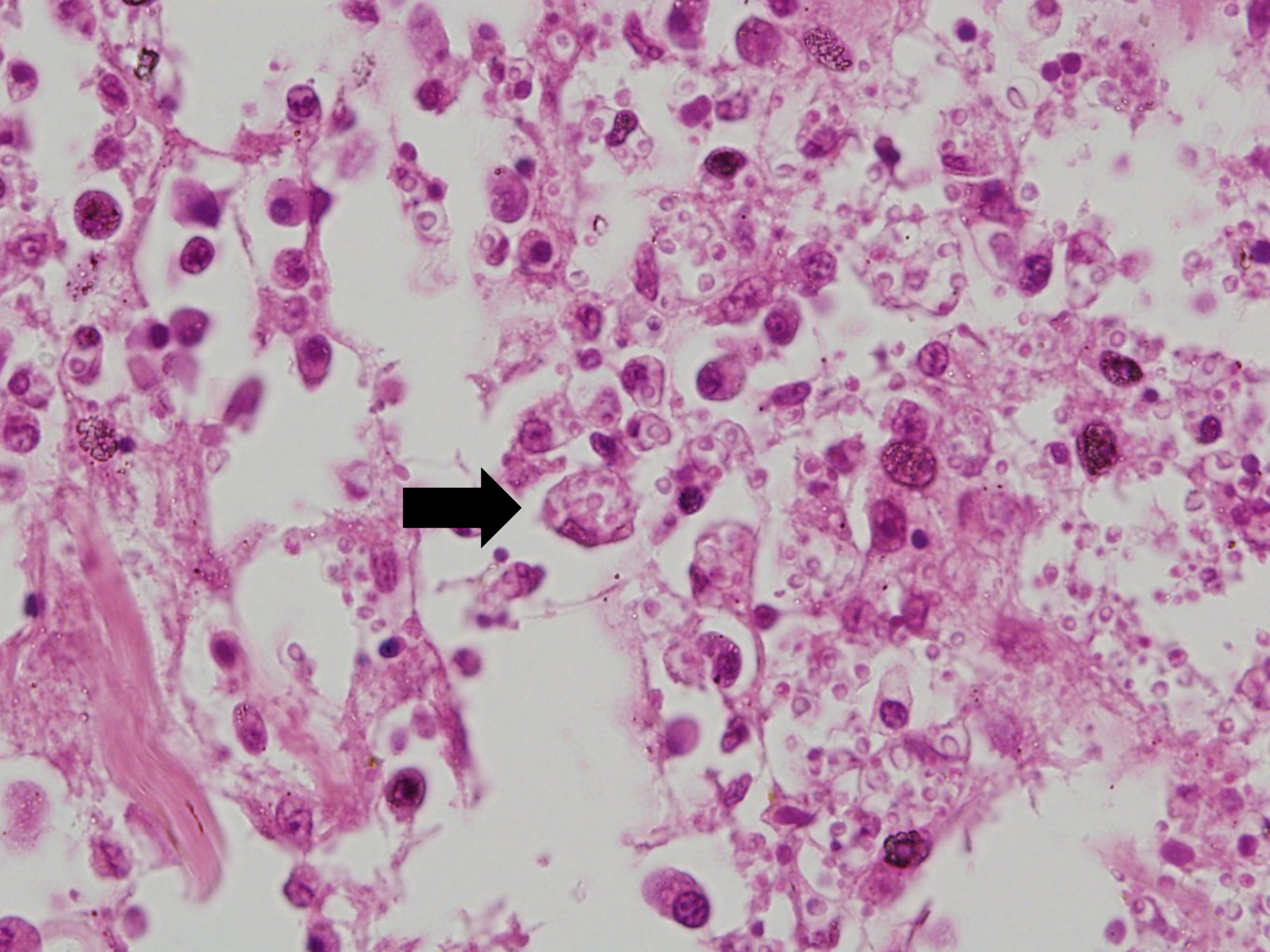
Lab Result: サブロー寒天培地で皮膚を培養したところ、*Sporothrix schenckii* が分離された。

被毛皮膚 HE

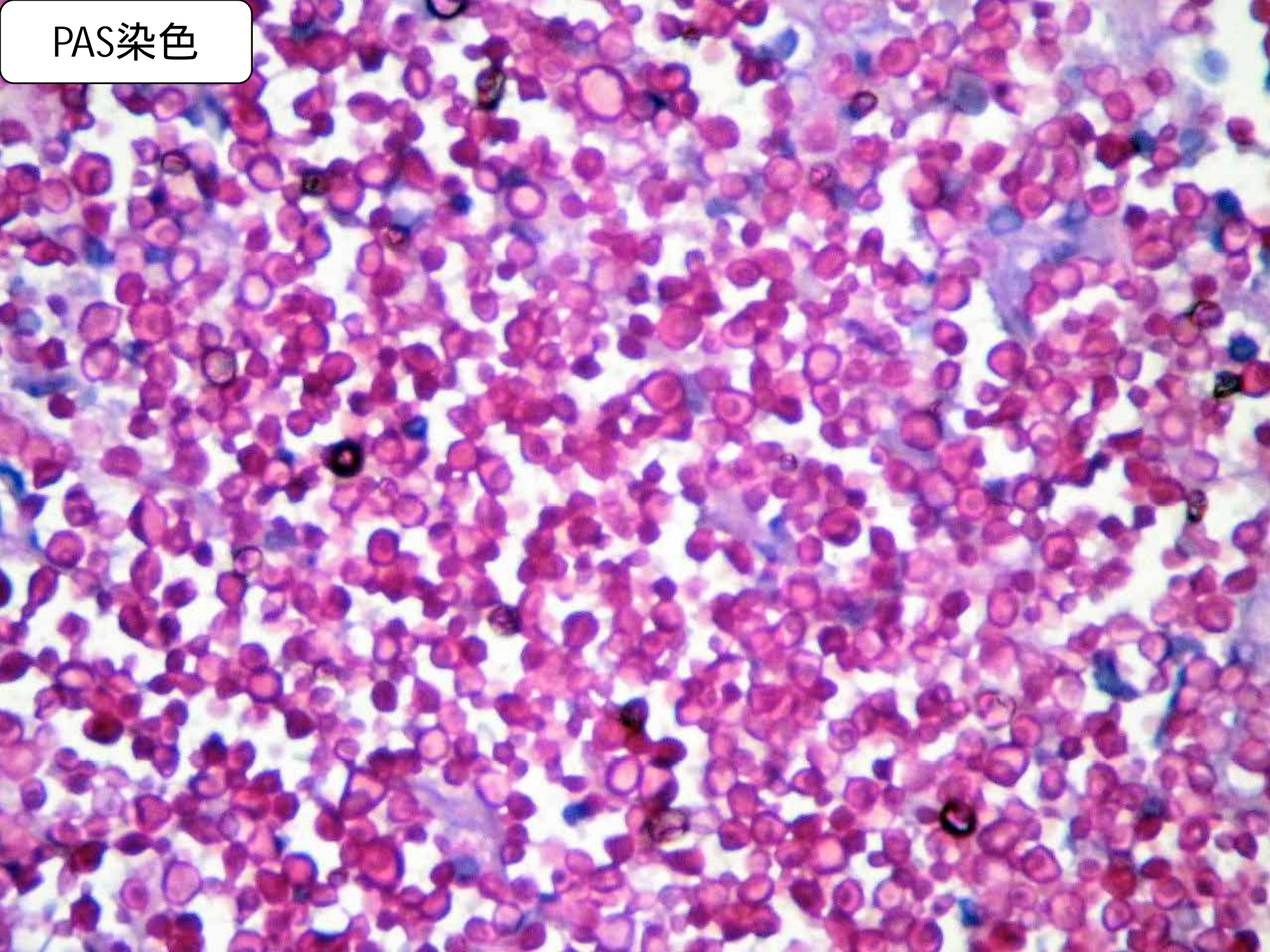








PAS染色



提出者の診断

皮膚: 皮膚炎、結節性からび漫性、肉芽腫性、著しい、無数の葉巻形から卵形の *Sporothrix schenckii* 酵母を伴う、種不明、猫。

Skin: Dermatitis, nodular to diffuse, granulomatous, marked, with myriads of cigar-shaped to oval *Sporothrix schenckii* yeast, undefined breed, cat.

JPCの診断

被毛皮膚: 皮膚炎、化膿性肉芽腫性、多病巣性から癒合性、重篤、多数の組織球内酵母を伴う。

Haired skin: Dermatitis, pyogranulomatous, multifocal to coalescing, severe with numerous intrahistiocytic yeasts.

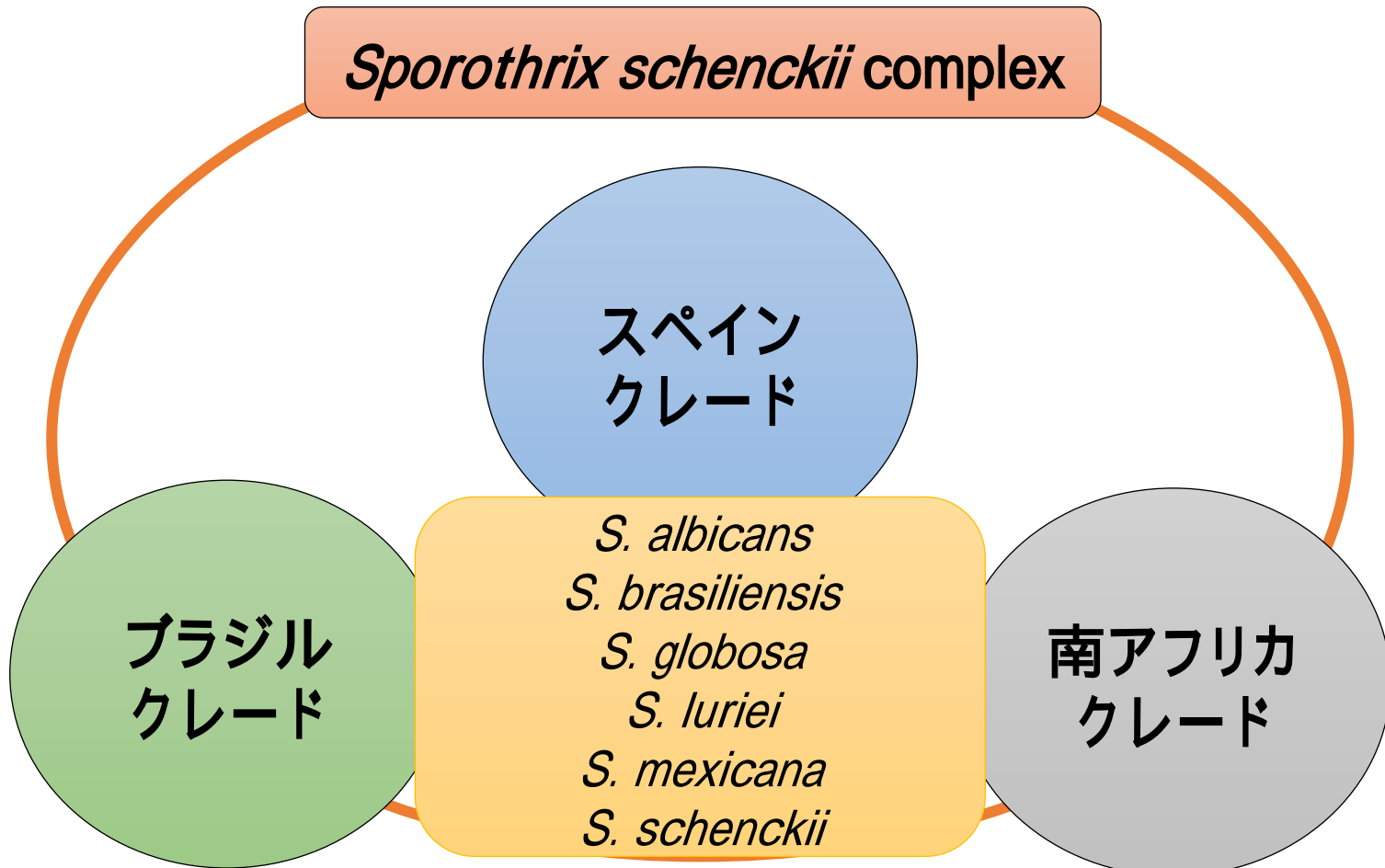
提出者のコメント

- : *Sporothrix schenckii* について
- : スポロトリコーシスの病型について
- : 治療法及び鑑別診断について

: *Sporothrix schenckii* について

Sporothrix schenckii とは

- u ネコ、植物、土壌等に存在し、日本を始めとして世界各国で認められる。
- u 二形成真菌である(土壌中で菌糸型3~6 μ m、生体内で酵母型~10 μ m)
- u 毒性因子は耐熱性、さらにマクロファージ貪食抵抗性を示すメラニンを合成。



: スポロトリコーシスの病型

病型について

- スポトリコーシスは *Sporothrix schenckii* によって引き起こされる肉芽腫性炎を特徴とする。
- 人では、Lymphocutaneous(皮膚リンパ型)、Fixed cutaneous(皮膚固定型)、Mucocutaneous(皮膚粘膜型)、Extracutaneous、Disseminated(播種型)の病型がある。

Cutaneous

- ∅ 多発性散発性脱毛、潰瘍、結節、真菌を含んだ局面(プラーク)。
- ∅ グルーミングにより、転移の可能性あり。

Cutaneous-lymphatic

- ∅ 皮膚、皮下組織、及びリンパ管まで関与する。
- ∅ 病変は結節から始まり、自壊し、排膿することで骨や筋を曝す。
- ∅ 局所リンパ節の腫大。
- ∅ 通常、四肢で病変を認め、**犬**、**馬**でよく認める。

Extracutaneous/Disseminated

- ∅ 内臓に播種性の病変を認める
- ∅ 発熱、沈鬱、食欲不振
- ∅ **猫**でよく認められ、Cutaneous-lymphaticへと続発しやすい

: 治療法及び鑑別診断について

治療

- ρ ヨウ化ナトリウム(NaI)およびヨウ化カリウム(KI)がスポロトリコーシスの選択薬とされていたが、副作用を持つ。
- ρ イトラコナゾール(ITZ)が有効性と安全性の観点から第一治療薬として用いる。
- ρ 治療には長期間を必要とし、治療がうまくいかないと、大抵呼吸器症状を伴い再発する。

鑑別診断

リーシュマニア症	クリプトコッカス症	抗酸菌症
<i>Leishmania</i> 属の原虫による痲皮、腫瘤、潰瘍等の皮膚病変を特徴。	<i>Cryptococcus</i> 属の酵母様真菌により、体表に丘疹を形成し、肉芽腫性の病変形成。	<i>Mycobacterium</i> 属による潰瘍性結節を特徴とする慢性皮膚炎。

会議のコメント

- 会議の参加者は *Histoplasma capsulatum* の組織病理所見と比較した。
- リーシュマニア症、クリプトコッカス症、抗酸菌症と類似している。
- 組織病理検査は通常は補助診断で、分離培養が確定診断のゴールドスタンダードである。

